

令和6年度 上田市立本原小学校 自己評価シート(職員)

資料17-2

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)
なかよく たくましく かんがえて		○一人一人の子どもの理解を深め、つながりを大切にする学校 ○子どもが学ぶ喜びを感じ、安心・安全で、あたたかな学校 ○子ども一人一人の学びを保障し、考える力・伝える力の伸長を目指す学校
今年度の重点目標		
【令和6年度の基本理念】 「安心・安全 わくわく どきどき、学ぶ喜び を感じ、明日を楽し みに来る学校	1 なかよく	
	2 たくましく	
	3 かんがえて	

総合評価						
成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策
○朝、学校全体が「おはようございます」のあいさつを自分から行えている。 ○学年関係なく、休み時間に遊ぶことができる。 ●課題は、元気なあいさつを自分からできる児童がさらに増えることである。	<input type="radio"/>					児童会のあいさつ活動を充実させていく。児童自らが元気なあいさつや返事ができるよう、授業を含む日常生活において、あいさつや返事の指導を充実させていく。
○清掃や係・児童会活動など、児童自ら積極的に取り組むことができている。 ●課題は、外遊びの奨励と環境づくりである。	<input type="radio"/>					2時間目休み、昼休み等において、外で元気に遊ぶことができるよう、児童会も含め考えていく。
○学級会の実施により、対話的なおかつタブレットを活用した授業ができた。 ○語彙力の向上に向け、授業中に語彙を増やす活動を取り入れた。 ●課題は、「すべての子どもの学びが充実する授業づくり」である。	<input type="radio"/>					学ぶ楽しさがある主体的な授業を行うためには、まだまだ実践が必要である。自己肯定感が高まるよう、授業改善を行っていく。授業がよくなる3観点「ねらい・めりはり・見とどけ」の「見とどけ」の充実に力を入れていく。

領域		評価項目	評価の観点
教育活動	なかよく	○一人一人の子どもを大切にした学級づくり・学校づくり	○子ども同士、子どもと教師が、あいさつや感謝の気持ちを伝えるとともに、人権感覚を磨いているか。
			○子どもが自ら意欲的に取り組み、自己肯定感を高めているか。
			○いじめや不登校について、しっかりと向き合い、よりよい方向へ導き、楽しい学校づくりができたか。
	たくましく	○健康・安心・安全の意識の育成と体力の向上	○健康や体力向上への意識を高める工夫ができたか。
			○安心・安全な校内環境づくりの工夫ができたか。
			○清掃や係・児童会活動など、児童自ら積極的に取り組めるよう働きかけたり、支援したりできたか。
	かんがえて	○すべての子どもの学びが充実する授業づくり	○「なぜ、どうして、やってみたい」をもとに探究していく授業、主体的に考えを深めていく授業を工夫できたか。
			○伝え合い、聞き合い、みんなで学び合える授業、ひとりひとりがわかる授業を工夫しているか。
			○すべての子どもの力を更に伸ばすような授業実践をしているか。
学校運営	○様々な教育活動・体験活動を通し、豊かな心の育成	○原っ子応援団と連携し、地域に根ざした活動の場を設け、体験活動が充実しているか。	
		○児童会、縦割り班、校外での交流活動を通して、「ひと・こと・もの」との関わりやつながりを大事にできたか。	
	○子ども・保護者・地域との信頼関係を深める	○学校だより、学級・学年だより、安心・安全メール、ホームページにより、教育活動の情報を伝えているか。	
		○地域連携を行ったり、直接または連絡帳、電話などで保護者と連絡をとったりして、信頼関係を深めているか。	
		○学校内外の相談体制の周知、受け入れ体制の整備を進めているか。	

成果と課題						
成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策
○朝のあいさつを自分から行う児童が多い。 ●児童、保護者アンケートにおいて、「自分から元気なあいさつをすることができた。」の項目において、CD評価があわせて約20%と多かった。	<input type="radio"/>					あいさつの意義をみんなで考えていきたい。児童会のあいさつ活動を充実させていく。職員も児童に対し、積極的にあいさつをしていく。
○保護者、職員アンケートにおいて、「自分にはいいところがあると思う。」の項目において、AB評価があわせて約92%と約90%となった。 ●児童アンケートにおいては、AB評価があわせて約80%で、CD評価があわせて約20%と多かった。	<input type="radio"/>					友のよいところを伝える活動を通して、自分のもつよさについて気づかせたい。係活動や児童会等の活動を通して、自己肯定感が高まるように支援を行っていく。
○なかよしアンケートなどを通して、悩みを相談しやすい環境づくりができた。また、いろいろな先生方との連携により、すばやく対応できた。	<input type="radio"/>					一人一人が輝ける場所、活躍できる場所、その子の居場所を考え、所属感とともに、自分は頼りにされているという必要感をもたせていく。
○保護者、職員アンケートにおいて、「外で遊んだり、元気に運動したりすることができている。」の項目において、AB評価があわせて約93%と約97%となった。 ●児童アンケートにおいては、AB評価があわせて約83%で、CD評価があわせて約17%と多かった。	<input type="radio"/>					2時間目休み、昼休みの有効利用を児童会も含め考えていいたい。職員も校庭や体育館と一緒に遊ぶ。
○児童、保護者アンケートにおいて、AB評価があわせて約93%と約97%となった。 ●職員アンケートにおいては、AB評価があわせて約80%で、CD評価があわせて約20%と多く、廊下歩行等の課題の記載があった。	<input type="radio"/>					廊下を歩くことの徹底をはかる。廊下の右側歩行ができるよう、廊下の真ん中にコーン等を設置する。児童がぶつかりそうなガラス等には、紙を貼る等の対策を講じる。
○心を磨く清掃について、子どもたちと考え、毎日の掃除に向き合うことができた。	<input type="radio"/>					心を磨く清掃となるよう、清掃に向かう意識改革を行っていい。感謝の気持ちをもって、清掃に取り組むことができるよう支援していく。
○授業の導入を大切にし、学ぶ必然性がある入りを意識した。 ○語彙力を高めるために、「どういうこと?」と言い合える環境づくりができた。 ○友との活動を積極的に取り入れ、友と考える授業をすこができた。	<input type="radio"/>					引き続き、3観点「ねらい」、「めりはり」、「見とどけ」を意識した授業となるよう、授業改善に力を入れていく。特に「見とどけ」について力を入れていく。
○話す聞くマナーを大切にし、個に応じた指導をした。 ○保護者、職員アンケートにおいて、AB評価があわせて約99%と100%となった。 ●児童アンケートにおいては、AB評価があわせて約80%で、CD評価があわせて約11%と多かった。	<input type="radio"/>					「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させていく授業改善を行っていく。
○タブレットの活用など、わかりやすい授業を心がけることができた。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていくことが必要である。	<input type="radio"/>					主体的に学習に取り組む態度について、「粘り強い取組を行おうとしている側面」と「自らの学習を調整しようとするとする側面」の2側面での評価の蓄積をしていく。
○地域のボランティアの方が、いつも学校にいてくださる環境がありたかった。	<input type="radio"/>					毎週水曜日の昼休みにコミクラブとして、地域の方との交流を充実させていく。
○児童会祭り実施により、縦のつながりの機会が増えた。 ○縦割り班での交流活動を行ったことで、普段の遊びでも他学年との交流が増えた。	<input type="radio"/>					福祉施設との交流等、校外での交流の機会を設けていく。
○ホームページにより、行事などの情報を公開できた。 ○学級・学年だより、安心・安全メール、ホームページにより、教育活動の情報を伝えている。	<input type="radio"/>					テルで、学校だより等、積極的に配信していく。引き続き、ホームページの更新も積極的に行っていく。
○職員アンケートにおいて、AB評価があわせて100%となった。 ●保護者アンケートにおいては、AB評価があわせて約90%で、CD評価があわせて約10%であった。	<input type="radio"/>					できる限り、電話や直接お会いして連絡をお伝えできるようにし、地域の方や保護者の方との信頼関係を深めていく。
○学校内の相談体制に関し、相談室、保健室、校長室等を紹介することができた。また、相談を行うことができた。課題は、学校外の相談についてある。	<input type="radio"/>					相談室、保健室、校長室に貼り紙をし、気軽に相談できる体制を整える。学校外の相談についても紹介をしていく。

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった